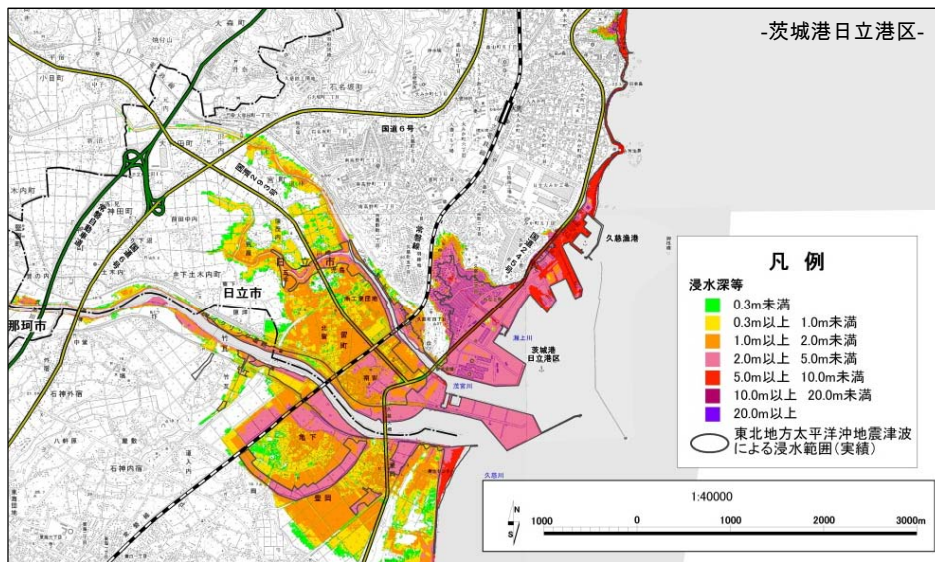


津波浸水想定公表

- 学識経験者による茨城沿岸津波対策検討委員会を平成23年12月から全4回開催し、平成24年8月に、**堤防整備等の目安となる「目指すべき堤防高」**、**ソフト対策を講じるための基礎資料の「津波浸水想定」**を公表。
- 公表した津波浸水想定については、「津波防災地域づくりに関する法律」第8条第1項に基づく、全国初めてのケース。
- 公表された津波浸水想定を基に、市町村は津波ハザードマップを作成するとともに、津波に対する住民の避難対策を検討していくこととなる。



※茨城県津波浸水想定図（平成24年8月作成）

港湾BCPによる協働体制の構築

- 港湾BCPによる協働体制構築に関する茨城港・鹿島港連絡協議会を、平成24年7月に設立。
- 現在、震後行動計画の策定に着手し、素案の取りまとめに向け、作業部会等において検討を進めている状況。
- 今後は、港湾機能の確保に障害となる可能性がある課題の抽出や対応策の検討、訓練・研修の実施と実効性の検証等実施予定。

津波防災訓練の実施

- 今年度の県総合防災訓練においては、港湾でも初めて津波を想定した訓練を実施。
- 茨城港日立港区において、日立市・茨城海上保安部・地元漁業協同組合と連携のもと、情報伝達訓練や船舶等の避難訓練を実施。
- 茨城海上保安部は、巡視船艇により沿岸部住民及び停泊船舶に対し、大津波警報の伝達を行うとともに、船舶避難の誘導を行った。
- 臨港地区においては、港湾荷役作業員が、大津波警報の発令を受け、実際に避難する訓練を行った。



※大津波警報を伝達する茨城海上保安部巡視船艇